

あらゆるものに印刷可能な 大型インクジェットプリンター 輸入・販売・保守までお任せを

ルキオ

ルキオ(世田谷区奥沢、古谷庄悟社長、03・5758・0687、<http://www.lukio.com>)は平成6年の創業から一貫して大型インクジェットプリンター(IJP)の輸入販売を行い、国内メーカーにはない3〜5m幅のものを印刷するプリンターまで取扱う。

また、輸入販売に留まらず、販売後の保守サービスを行うのも大きな特長だ。創業した頃は三井物産や丸紅など大手商社も大型IJPの輸入販売を行っていたものの、保守面での採算性を理由に撤退したため競合が少なく、カナダのGandydigital社、スイスのswissQprint社など、海外メーカー品輸入の日本総代理店として存在価値を高めている。

そして現在、保守サービスで培ったIJP技術と知識を活かし、アジアメーカーを中心に共同企画・開発にも携わり、日本のニ

ズに合ったIJP開発に積極的に取組んでいる。将来的には、海外製品を手直してできる自社工場を持ちたいとのこと。

インクを吹き付けて印刷する非接触タイプのインクジェット技術(IJ)は、印刷対象物に接触する従来手法(日本主流のオフセット印刷など)と違い、材質や表面の凹凸・質感に影響されずあらゆるものに印刷できる利点を持つ。また、IJでは従来手法に共通して必要だった「版」が要らず、少数数や修正におけるコスト増を抑えられるので、試作品や限定品など小ロット多品種の印刷にも対応できる。「印刷のスピードやキレ、きめ細かさではオフセット印刷には劣るが、その差は確実に縮まってきている」と古谷社長は語る。さらに、「これからはオリジナリティが重要視される時代。小ロット多品種に強いIJの需要はもっと高まって



スイス製の大型インクジェットプリンター



インクジェットはあらゆる素材にさまざまなデザインが印刷できる

くる。IJを日本の産業界にどんどん浸透させ、さまざまな業種とコラボレーションしたい」と意気込みたいと意気込みたいという相談があれだけ一度、お問合せいただきたい。